



品川区役所駐車場に開設されている品川区PCR検査センター。発熱などの症状がある場合などに、かかりつけ医の判断で区民の検査が無料で受けることができます。（写真は開設前のマスコミ公開時）

品川区でも、港区・目黒区・世田谷区等と同様に 新型コロナウイルス第二波の危機的状況 希望する高齢者等にPCR検査の無料実施を直ちに

都内6000人越えも

コロナ陽性者が各地で増加し、全国では初の3000人越え。都内でも6000人を超える等、過去最多を日々更新しています。

医療機関もひっ迫し、日本医師会や専門家からも「このままでは助かる命が助けられなくなる」など強い危機感を示すなど、まさに第3波は危機的状況です。ところが菅政権にその危機感はなく、GOTOキャンペーンに固執。GOTO事業の継続に批判が高まる中、

ようやく年末年始の一時停止を発表しましたが、決断があまりに遅すぎます。

GOTO事業が新たな感染拡大を広げたことは明らかです。直ちに事業は中止し、

観光業や旅行業、飲食業への直接支援に切り替えるべきです。

また経済支援というのなら緊急に消費税減税を行うべきです。

各種世論調査では政府のコロナ対策を「評価しない」が多数となり、内閣支持率は急落。批判が高まっています。

品川区が高齢者への検査を拒否！

コロナ感染が拡大する中、共産党は国や都が示す高齢者や介護施設などへのPCR検査について、品川区でも実施するよう第4回定例会で提案しました。

例えば、国は重症化のリスクが高い高齢者や高血圧、糖尿病などの基礎疾患のある高齢者に対して、検査を希望する高齢者にPCR検査実施を各自治体に通達。検査費用は全額国負担で、住民や自治体の負担なく、実施するかは各自治体の判断にゆだねられています。既に全国300の自治体が、東京23区でも港、目黒、世田谷など11区で実施しています。ところが品川区は

「実施しない」と判断し、いまだに実現していません。

共産党は、なぜ国が示す検査を品川区は実施しないのかと追及すると区は「濃厚接触者には検査を広く実施するが、無症者を広く実施する考えはない」と説明。共産党は「感染を抑制するためには無症状態者の把握と保護が必要で、特にリスクの高い高齢者への検査は他区と同様に積極的に行うべき」と主張しました。

区議会では共産党とネットが実施を区に要望。ところが自民、公明、無所属などが実施を求める区民陳情に反対し区を擁護しました。こうした区政を変え、検査実施へ頑張ります。

羽田新ルートを問う区民投票条例の可決へ 区議会自公が条例に賛成するよう働きかけよう


10月より1カ月間の法定署名集めが行われた羽田新ルートを問う区民投票条例制定は、区選挙管理委員会の審査をへて、有効署名20760筆が確定し、12月11日に請求代表人が本請求を区に行いました（下）。この署名数は、地方自治法が定める法定数の3倍となり、画期的な事です。



今後、品川区長が賛否の意見を付けて、区議会に提出し、区議会で審査、採決されます。そのための臨時議会は12月23日から25日の3日間の見通しです。



住民投票条例は、区民が低空飛行計画への賛否を示す場で、区長や区議会は、区民が意見を表明する権利を保障すべきです。区民投票の実施には、採決の際に、区議会過半数以上の賛成が必要で、まだ自公が賛成を示していないため過半数は超えていません。自公を含めた賛成多数による区議会可決へ、全力を尽くします。

なかつか亮 1975年西大井生まれ／45歳／伊藤小、富士見台中、農大一高卒／イタリア料理厨房6年／27歳初当選／区議5期／予算・決算委員会副委員長、行革特別委員会委員長を経験／党区議団幹事長／家族：妻／29号線取消裁判原告／趣味：旅行 

なかつか亮の駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅
スタッフ募集：区政報告を駅前宣伝で配付して頂ける方を探しています。少しの時間だけでも助かります。